（様式 17）

研究番号	第 26－64

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

［研究課題名］難治性てんかんに対する視床前核・脳深部刺激療法の効果の検討

［研究機関名］聖隷三方原病院

［研究機関の長］　山本　貴道

［研究責任者］山添　知宏　（てんかん・機能神経外科・医師）

［研究の概要］

■　目的・方法（研究期間も含む）

薬剤抵抗性焦点てんかんに対する視床前核･脳深部刺激療法は2023年12月に日本国内で保険適応となりました。海外での調査は、この治療をうけた方の約50％以上で50％以上発作減少がえられたとの報告があります。しかし、日本国内ではこの治療が導入されまだまもない状況であり、その実態は不明な点も多いです。そのため、現在の視床前核・脳深部刺激療法の難治性てんかんに対する治療効果をカルテベースで検証します。

研究期間：2026年10月28日～2027年3月末

■　対象となる患者さん

2025年12月から2027年3月までに、当院てんかん・機能神経外科もしくは脳神経外科外来通院で視床前核・脳深部刺激療法を継続もしくは中止した方。

■　研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：病歴、年齢、脳波・画像（CT、MRI、PET等）所見、内服薬、てんかん診断、脳深部刺激療法の刺激パラメータ・デバイスの種類、発作頻度の変遷、副作用、脳深部刺激療法の治療期間等

［問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先］

社会福祉法人　聖隷福祉事業団　総合病院　聖隷三方原病院

山添　知宏、てんかん・機能神経外科

電話 053-436-1251　　FAX 053-438-2971